

平成二十六年 総会・講演会の開催

六月十四日、エルブライド寿光苑において、総会並びに講演会を、百四十四名（出席五十二名、委任状九十二名）の参加を得て盛會裡に開催することができました。

●平成二十六年 総会

川越清司会長の挨拶の後、小多偕裕さんが議長に選出され、議事に入りました。はじめに平成二十五年度の事業報告と決算関係並びに監査報告が承認されました。

次の役員選出については、現理事の留任と、川越会長・北川暢子副会長の再任を決定しました。もう一名の副会長など他の役員は選出は、理事会に委ねられました。

続いて平成二十六年度事業計画及び予算が報告され

高島藤樹会活動の一コマ



川越会長の挨拶

ました。その後、北川副会長から、教材委員会の紙芝居の制作やその活用について報告いただきました。



平成26年度総会の様子

●講演会

講師 滋賀大学准教授

横山 幸司 先生

・演題 「生涯学習のまちづくり」

（次は、私のメモの抜粋です。）

・「生涯学習によってまちづくりを担う人をつくっていく」 「生涯学習のまちづくり」

・恵那市生涯学習のまちづくりの事例

- ① 拠点として生涯学習まちづくりセンターの創設
- ② 郷土の先人「佐藤



一斎の三学の精神」に学ぶため恵那市市民大学「恵那三学塾」を創設

・地域の先人に学ぶことを、市の政策として発展してほしい。

佐藤一斎の三学の精神

少にして学べば、則ち壯にして為すあり。壯にして学べば、則ち老いて衰えず。老いて学べば、則ち死して朽ちず。

（新旭公民館の1Fに掲げられています）

平成二十六年 役員決定

（第三回理事会の報告）

七月十四日、安曇川公民館において第三回理事会が開催され、総会で委ねられた役員選出も主要議事となりました。

このところ本会の運営は事務局会議に負うところが多かったことから、本来的であり方を求めて、「それぞれが担当を持つ常務理事」による会議で運営していくことになりました。

役員は次の通りです。常務理事の

（一）内は、担当内容です。（敬称略）

会長 川越 清司

副会長 北川 暢子・小多 偕裕

常務理事 石田 弘子（心のセミナー）

〃 足立 清勝（教材）

〃 多胡 賢（表彰）

〃 田中 清行（事務局長・学習）

〃 三田村治夫（広報）

理事 上田藤一郎・弘部 健次・飯田 典子

〃 清川 貞治・高谷美智子・三田村弘子

〃 小林 忠伸・高橋 志郎・清水 鉄次

〃 深川 澄雄・徳丸 和枝

監事 古谷 芳實・山本 義雄

顧問 久保田暁一・萬木甚一良

〃 松本孝太郎・白井 則茂

（M・H）

新教材に移ります！

田中 清行

藤樹人間学学習会では、約二年半かけて『翁問答』（現代語訳）を教材に藤樹先生の「孝」の思想を学び共に話し合ってきた。その『翁問答』がいよいよ終わりに近づきましたので、次の教材をお知らせします。

新教材は、中江藤樹原著・西晋一郎通解『大学解』です。（写真・少し廉価でご用意します）

『大学』は、四書の始めです。この『大学』について先生が晩年の四十歳の時、解釈文として出されたのが『大学解』です。それを昭和十四年に西晋一郎先生が現代文で解説されています。藤樹先生の円熟された思想を共に学び、日々の生活の中でいかに生かして行くか等について話し合っ

てまいりたいと思います。皆さまどうぞご参加ください。お待ちしております。

